

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 放課後等デイサービス事業所 nicobase

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		療育・学習・調理など、それぞれの活動に応じたスペースを確保しています	
	2	職員の配置数は適切である	○		指定基準に基づき職員を配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関の上り口に段差はありますが、介助者がいれば安全に使用できます。今後、配慮が必要な児童の受け入れがあれば、バリアフリー化に努めます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員会議等で話し合い、各課題に対して担当を決めながら取り組んでいます	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートの結果を踏まえて、職員会議等で話し合いを行い、運営や支援の向上に努めています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後実施できるよう努めています
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修の他に、定期的に内部研修を行い、職員の学ぶ機会を設けて支援の向上に努めています	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童や保護者からの意向を取り入れながら相談支援事業所の支援計画に沿った計画を作成しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		簡易的な行動観察シートの結果を踏まえた計画立案をしています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		1人の職員に偏らないように職員同士で集まり、アイデアを出し合いながら活動プログラムの立案を行っています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう職員同士で話し合いをしながら活動プログラムの立案をしています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日と休日では利用時間や通所する児童の顔ぶれも異なるため、活動内容や児童の組み合わせを職員で話し合いながら支援を行っています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントに基づき各児童の状況に応じた個別・集団活動を適宜組み合わせ計画を作成しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前のミーティングにて、児童に合わせた支援を行えるよう役割分担を確認しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		勤務時間の関係上、支援終了後に打ち合わせをすることは難しいものの、翌日の午前中にミーティングを行い情報の共有をしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の活動記録を用いて、ミーティングや会議等で支援の検証や改善に努めます	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		指定基準に基づき定期的な計画書の見直しを行っています		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに沿った複数の基本活動を組み合わせた支援を行っています		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		障害児相談支援事業所からの要請があれば、児童発達支援管理責任者が参加を予定していますが、今まで一度も要請を受けたことはありません
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	電話連絡やSNS等で学校との情報交換や連絡調整を適切に行っています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な児童の通所がないものの、今後必要があれば体制を整えるよう努めていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		障害児相談支援事業所からの情報提供が中心で、就学前に利用していた保育所や幼稚園等との直接のやり取りはなく、今後は当該施設との情報共有に努めていきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在までに該当する事例が発生していないものの、今後必要があれば情報の提供に努めていきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	美幌療育センターが主催する研修に参加したり、日々の支援に関する助言を要請しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	不定期ではありますが、中学生や高校生の学生ボランティアを複数名受け入れており、体育館等で一緒に活動をする機会を設けています	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		今後は、情報共有と連携強化を図るため参加できるように努めます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時や活動日誌・電話連絡・sns等で連絡をとりながら課題の共有に努めています	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	送迎時やメール・電話等で密に連絡を取り合い、困りごとや行動改善のアドバイスを行っています	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時や必要時には管理者や児童発達支援管理責任者が説明を行っています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者から相談があった際には、助言や支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	年に一度、保護者交流会を開催しています	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情があった際には迅速に対応をし、職員間で内容を共有しながら再発の防止に努めています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月会報を発行したり、SNS等で日々の活動の様子を発信しています	
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報の重要性を認識し、個人情報に関する法令等を遵守するとともに、その管理・保護に努めています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	作業療法士のアドバイスを受けながら児童や保護者とのコミュニケーション及び情報伝達に配慮をしています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		感染症対策として今まで地域住民を招待するようなイベントを行ってきませんでした。今後は感染状況を踏まえ地域の方も招待できる行事を検討していきたいと思っております
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	誰でも閲覧できるように事業所の玄関に各種マニュアル等のファイルを置いています	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		基準に沿った避難訓練を実施しています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法律に基づき虐待防止研修を定期的に行っています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		定期的に身体拘束適正化委員会を開催し、緊急やむを得ない身体抑制に関する同意書や計画書等の見直しを行っています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、該当する児童の利用はないが、該当する児童がいた場合は対応をいたします
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員会議等で情報の共有をしています	